

大学受験 英語

頻出表現・英作文

学習プリント

共通テスト～難関国立大二次対応

— 解答入り版 —

【 】の中が答えです。赤い下じきを当てると消えるので、
買ってすぐ、そのまま暗記チェックに使えます。

「発展」のついた内容は、標準をこえるやや高度な内容です。
二次試験で自由英作文が出る大学をめざす人が取り組めば十分です。

目次

■ 英作文の基本

- 第1章 英作文の心得——減点されない英語を書く
- 第2章 文の骨格をつくる
- 第3章 名詞のかたまりをつくる
- 第4章 修飾する——関係詞・分詞・不定詞・前置詞句
- 第5章 つなぐ——接続詞とディスコースマーカー

■ 機能別 頻出表現

- 第6章 因果・目的・結果を表す
- 第7章 比較・対照・変化を表す
- 第8章 意見・主張・譲歩・賛否を表す
- 第9章 可能性・程度・頻度・条件を表す
- 第10章 説明・定義・列挙・引用を表す
- 第11章 英作文で使う頻出構文
- 第12章 テーマ別頻出語句①——環境・科学技術・情報
- 第13章 テーマ別頻出語句②——教育・社会・国際・生活

■ 英作文の実践

- 第14章 和文英訳の型——日本語特有の表現を処理する
- 第15章 和文英訳 実践演習
- 第16章 自由英作文の書き方——構成と段落
- 第17章 意見文の型と模範解答
- 第18章 グラフ描写・Eメール・要約
- 第19章 英作文でよくあるミス——減点を防ぐ

■ 巻末資料

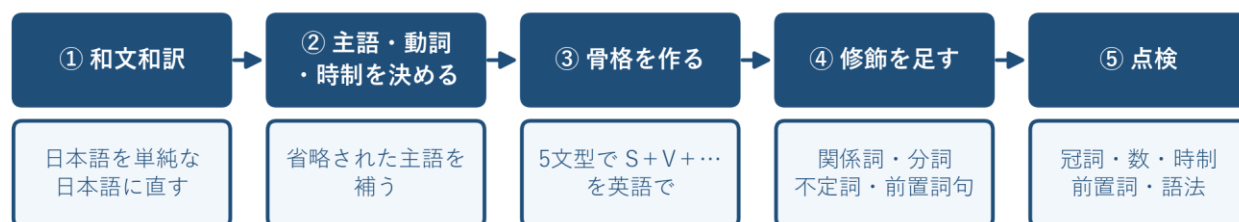
- 巻末資料① 頻出表現チェック 150
- 巻末資料② つなぎ言葉一覧
- 巻末資料③ 自由英作文 頻出テーマとキーワード

◆ この冊子の使い方

- ・【 】の中が答えです。赤い下じきを当てると消えるので、くり返し確認できます。
- ・「書きこみ用」は同じ内容が空らんになっています。答えを書きこんで練習しましょう。
- ・第Ⅰ部は「英文の組み立て方」、第Ⅱ部は「言いたいこと（機能）別の表現」、第Ⅲ部は「和文英訳・自由英作文の実践」です。

第1章 英作文の心得——減点されない英語を書く

和文英訳の手順



長い日本語は二文に分けてから訳す。知らない語は言いかえる。

※④の点検は「冠詞・数」「時制」「前置詞・語法」「主語と動詞」の四つを順に見る。

■ 1 採点者は何を見ているか

- ・和文英訳の採点は【減点】方式が基本。「難しい語を使ったか」ではなく、「文法・語法の【誤り】がないか」「日本語の意味が【正確】に伝わるか」を見る。
- ・したがって鉄則は三つ。①自信のある【簡単】な単語・構文で書く。②書いた文は必ず【主語】と【動詞】を確認する。③【時制】・【冠詞】・【数】（単数・複数）・【前置詞】の四つを見直す。
- ・自由英作文は【内容】＋【構成】＋【言語】の観点で採点される。主張が一貫し、指定語数を満たし、段落構成が明確であることが得点の土台。

■ 2 和文和訳——日本語を英語にしやすい日本語に直す

- ・日本語をそのまま英語にせず、まず「【誰が】【何を】どうする」の形の単純な日本語に置きかえる（【和文和訳】）。
- ・「彼の話は私を退屈させた」→「私は彼の話に退屈した」（I was bored with his talk.）のように、主語を【人】にする、または無生物主語を活かす（His talk bored me.）。
- ・抽象的な語は【具体】的にほぐす。「豊かさ」→「多くのものを持っていること」、「対応する」→「～に対処する（deal with）」「～に応じる（respond to）」。
- 「彼は口が堅い」→ He can keep a secret. / He never tells anyone a secret.
（「口が堅い」を「秘密を守れる」に和文和訳）
- 「その本は読みごたえがある」→ The book is worth reading carefully.
- ・「～と言われている」「～らしい」など日本語独特の【ぼかし】は、It is said that ～、They say that ～、seem to ～、be likely to ～で処理する。

■ 3 主語の選び方

- ・日本語では主語が【省略】されやすい。英文を書く前に「この文の主語は誰・何か」を必ず補う。一般論なら【we / you / people】、筆者の意見なら【I】、「～だ」「～と思われる」なら【It】。
- ・「～すると…になる」型は【無生物主語】＋他動詞が便利。「この薬を飲めば気分がよくなる」→ This medicine 【will make】 you feel better.
- ・「～がある・いる」は There is / are、または have で。「この町には図書館が 3 つある」→

There are three libraries in this town. / This town **has** three libraries.

・「～は…だ」の「は」がいつも主語とは限らない。「東京は物価が高い」→ Prices **are** high in Tokyo. (× Tokyo is expensive prices)。

■ 4 時制の一貫性・数と冠詞の一致

・一つの文章の中で時制の**【軸】**をそろえる。過去の出来事は過去形、一般論は現在形。「～したとき…していた」は過去進行形、「～する前に…していた」は過去完了。

・可算名詞は**【単数】**なら a / an / the、**【複数】**なら -s のどちらかを必ずつける。裸の単数可算名詞 (× I like dog.) は減点の第一位。一般論は**【複数形】** (Dogs are friendly.) が安全。

・不可算名詞 (information, advice, work, homework, furniture, money, news, progress, knowledge) には a も -s もつけない。

・主語と動詞の一致: 3人称単数現在の**【-s】**、each / every / one は単数、the number of は単数、a number of は複数。

■ 5 書いたあとの見直しチェックリスト

・☐ 各文に主語と動詞があるか。☐ 時制はそろっているか。☐ 名詞に冠詞・複数形はついているか。☐ 3単現の -s。☐ 自動詞・他動詞と前置詞。☐ 動名詞か不定詞か。☐ 語数は指定どおりか。☐ 綴りと大文字・ピリオド。

・迷ったら**【書きかえる】**。「思い出せない語」より「言い直せる語」を選ぶのが試験の戦略。例…「熟考する」→ think carefully about、「普及する」→ become common / spread widely、「充実した」→ fulfilling / satisfying。

発展 「～のような」を意味もなく like で並べる、「～と思う」を毎文 I think で始める、「そして」を And で文頭に立てる——といった癖は内容よりも印象を下げる。文頭は主語から始め、つなぎは接続副詞 (However, Therefore, In addition) を使う。

◆確認

- ☐ 和文英訳の採点の基本方式と、見直すべき四つの項目を言えるか。
- ☐ 「和文和訳」とは何か、例をあげて説明できるか。
- ☐ 主語が省略された日本語をどう補うか、三つの方針を言えるか。
- ☐ 裸の単数可算名詞が減点される理由を言えるか。